

司法面接

被面接者への 心理的配慮と事実の解明

企画

伊東 裕司 (慶應義塾大学)

仲 真紀子 (立命館大学)

箱田 裕司 (京都女子大学)

司会

伊東 裕司

指定討論者 箱田 裕司・伊東 裕司

事件・事故の捜査では、被害者、目撃者、被疑者から話を聞くことが重要です。しかし、正確な情報を多く得るには、記憶の変容や精神的な二次被害など、さまざまな心理学的問題を乗り越える必要があります。このシンポジウムでは、子ども、障がいをもつ人、高齢である人、日本語でのやりとりがむずかしい人など、配慮が必要な方から話を聞く際の問題や、研究の現状、課題を扱います。心理学者の取組みや実践を紹介し、捜査や裁判手続きのあり方についても考えます。

● 福岡会場・大阪会場

話題提供者	テーマ
山本 渉太 (警察大学校)	警察における捜査面接訓練の現状
松尾 加代 (慶應義塾大学)	目撃者遂行型調査：質問紙による目撃情報の収集法
羽瀨 由子 (徳山大学)	ことばの壁をどう乗り越えるか：日本語が母語でない人に対する司法面接
仲 真紀子 (立命館大学)	子どもから話をどう聴くか：司法面接の現状と展開
大橋 靖史 (淑徳大学)	知的障がい者の供述特性に配慮した司法面接



2017 11.18 SAT

13:30~17:00 定員160名【入場無料】
(開場13:00)

■福岡会場
福岡大学 8号館 1階・811教室
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
▼七隈線福大前駅 西鉄バス福大前、福大正門前
●案内図 <http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>



2017 12.2 SAT

13:30~17:00 定員250名【入場無料】
(開場13:00)

■大阪会場
立命館大学 いばらきキャンパス A棟 AN211教室
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
▼JR茨木駅 徒歩5分 阪急南茨木駅 徒歩10分 モノレール宇野辺駅 徒歩7分
●案内図 <http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/oic/>



※参加希望の方は必ず事前にお申込みください。お申込みいただいていない方は、ご入場いただけない場合がございます。

お申込みはE-mail、Fax、往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。(E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください。) ※各シンポジウムごとにお申込みを受け付けております。他のシンポジウムへの参加を希望される方は、別途お申込みください。

